

令和6年度

第4号

支援センターだより



〒780-0972 高知市中万々78 番地
高知県立高知ろう学校 相談支援部
電話 088-823-1640 FAX 088-823-1752
E-mail : k-ro@g.kochinet.ed.jp



桜を眺めた春、とっても暑かった夏、運動会をがんばった秋、もういくつ寝るとお正月・・・一つ一つの季節を経ながら、いよいよ2024年も終わりの頃となりました。みなさんにとって、どんな1年だったでしょうか。きっとたくさんの笑顔やがんばった姿が浮かんでくることと思います。それぞれ2学期のしめくりをしなが、新しい年に向かって、遊びや勉強に励んでいきましょう。

支援センター便り第4号では、高知ろう学校の山中智子校長からの【言の葉（ことのは）】をお送りします。



【言の葉（ことのは）】

私は、ろう学校で勤務して通算26年目になります。今回は、その長い年月の中で、これはみなさんの記憶のどこかに残してほしいなと思うことを書いてみます。

聴覚に障害のあるお子さんの言語発達には、どうやら3つの難所があるようです。1つ目は、※2歳の分かれ道、2つ目は、5歳の坂、3つ目は、9歳の壁。

15年ほど前になるでしょうか、ある保護者学習会で『聴覚障害について』お話をしたときのことで、『9歳の壁』についてふれた後です。あるお母さんが、

「『9歳の壁』があることが分かっているのにどうして学校は、何にもできないんですか？」と質問？意見？されました。私は、「そうきたか」と正直驚きました。なぜなら、そのお母さんが、壁が最初からあると思われていたからです。

『9歳の壁』は、最初からあるとは限らないのです。「あるとは限らない？」と思われる方も多いでしょう。『9歳の壁』には、さまざまな記述がありますが、簡単にご説明すると『9歳以下の子供が、目にしたものの経験から理解して学習するのに対し、9歳を過ぎると物事を論理的に考え、理解して（言語を用いた思考）学習するようになる』時期のことです。小3では、社会で私たちの暮らす町のことを学習し、小4では、日本の行ったことのない県の学習をします。国語では、文中に書かれていない心情を読み取らなければなりません。算数では、小数・分数の理解をしなければなりません。

学力や言語能力、思考力等が9歳レベルの水準であれば、壁は立ちはだからないということになります。それには、前述の※2歳の分かれ道、5歳の坂を通過していることがカギになります。そしてそれらの根っこの部分（基盤）となるのが、愛されること、大切にされることです。子供は、保護者や周囲の大人との信頼感を育むことによって安心して興味・関心を広げていきます。保護者や周囲の大人は栄養を蓄えた土壌ということになりますね。学校と保護者が協力して栄養を2倍にできるといいですね。

※2歳の分かれ道、5歳の坂については、またの機会に。※2歳の分かれ道・・・2023夏・高知ろう学校校内研修会より

